

平成26年度 病害虫発生予報 第1号

平成26年4月18日
栃木県農業環境指導センター

○トマト葉かび病の発生に注意し、適切に防除しましょう！

予想期間 4月下旬～5月下旬

予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

1 いちご うどんこ病

- (1) 発生予想 発生量：平年並
- (2) 根拠
- ・現在の発生量は平年並(平年比：ほ場率89%、株率86%)。(±)
 - ・向こう1か月の平均気温は平年並～低い見込みで、発生にやや不適である。(±～-)
- (3) 対策
- ・適正な温度管理や換気、かん水等を行う。
 - ・発病果は伝染源となるので速やかに取り除き、施設外で処分する。
 - ・発生初期にガッテン乳剤、サンリット水和剤等を葉裏にもよくかかるように散布する。

2 いちご アブラムシ類

- (1) 発生予想 発生量：やや多い
- (2) 根拠
- ・現在の発生量はやや多い(平年比：ほ場率160%、株率120%)。(＋)
 - ・向こう1か月の平均気温は平年並～低い見込みで、発生にやや不適である。(±～-)
 - ・今後、施設が開放され、施設外からの飛び込みが増加する。(＋)
- (3) 対策
- ・発生が見られた場合は、モスピラン顆粒水溶剤、ウララDF等を散布する。
- (4) 備考
- ・[植物防疫ニュース\(H25速報No. 30\)「いちごのアブラムシ類が増加しています！」](#)を当センターHPに掲載中。

3 いちご アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：平年並
- (2) 根拠
- ・現在の発生量は平年並(平年比：ほ場率64%、株率100%)。(±)
 - ・向こう1か月の平均気温は平年並～低い見込みで、発生にやや不適である。(±～-)
 - ・今後、施設が開放され、施設外からの飛び込みが増加する。(＋)
- (3) 対策
- ・発生初期はカウンター乳剤、多発時はディアナSC等を散布する。
- (4) 備考
- ・[植物防疫ニュース\(H25速報No. 28\)「いちごのアザミウマ類の被害発生に注意しましょう」](#)、[「園芸作物と花きに発生したアザミウマ類の薬剤感受性検定結果\(続報\)」](#)を当センターHPに掲載中。

4 トマト 葉かび病

- (1) 発生予想 発生量：多い
- (2) 根拠
- ・現在の発生量は多い(平年比：ほ場率188%、株率260%)。(＋)
 - ・向こう1か月の平均気温は平年並～低く、降水量は平年並の見込みで発生にやや適している。(±～＋)
- (3) 対策
- ・施設内が多湿にならないよう、換気やかん水に注意する。
 - ・発病葉は感染源となるので速やかに取り除き、施設外で処分する。
 - ・生育が衰えると発生しやすいので適正な樹勢管理を行う。
 - ・発生初期にアフェットフロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤等を散布する。
- (4) 備考
- ・[植物防疫ニュース\(H25速報No. 26\)「トマト葉かび病の発生が増えています！」](#)を当センターHPに掲載中。

5 トマト コナジラミ類

- (1) 発生予想 発生量：平年並
- (2) 根拠
- ・現在の発生量は平年並(平年比：ほ場率130%、株率70%)。(＋)
 - ・向こう1か月の平均気温は平年並～低い見込みで、発生にやや不適である。(±～-)
- (3) 対策
- ・雑草はコナジラミ類の増殖源になるので、施設内外の除草を行う。
 - ・早期発見に努め、密度の低い時点で、アニキ乳剤、コルト顆粒水和剤等を散布する。

- (4) 備考 ・ [植物防疫ニュース \(H26速報No. 1\) 「トマト黄化葉巻病の媒介虫であるタバココナジラミを封じ込め、伝染環を断ちましょう！」](#)を当センターHPに掲載中。

6 きく アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：多い
 (2) 根 掘 ・現在の発生量が多い(平年比：ほ場率230%、株率150%)。(+)
 ・向こう1か月の平均気温は平年並～低く、発生にやや不適である。(±～-)
 ・今後、施設が開放され、施設外からの飛び込みが増加する。(+)
 (3) 対策 ・雑草はアザミウマ類の増殖源になるので、ほ場内外を除草する。
 ・親株からの持ち込みに注意する。
 ・施設開口部に防虫ネットを張ることにより、アザミウマ類の侵入を防ぐ。
 ・発生初期から、マッチ乳剤[シキイアザミウマ]やトクチオン乳剤等を散布する。
 (4) 備考 ・アザミウマ類はウイルス病(キク萎えそ病、キクえそ病等)を媒介するので注意する。
 ・当センターHPに[「園芸作物と花きに発生したアザミウマ類の薬剤感受性検定結果\(続報\)」](#)を掲載中。

7 その他の病害虫

		現 況	発生予想			現 況	発生予想
いちご	ハダニ類	平年並	平年並	きゅうり	うどんこ病	平年並	平年並
トマト	灰色かび病	やや少	やや少		アザミウマ類	平年並	やや多
	黄化葉巻病	平年並	平年並	きく	白さび病	やや多	やや多

春の病害虫防除対策

○イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率が高まっています！

- ・イネ縞葉枯病の多発が懸念される県中南部では、同病媒介虫のヒメトビウンカに効果のある箱施用剤を使用しましょう。
- ・[植物防疫ニュース \(H25速報No. 32\) 「平成26年産稲作におけるイネ縞葉枯病防除対策について」](#)及び[「病害虫防除対策のポイントNo.17」](#)を当センターHPに掲載中。

○麦類の赤かび病は適期に防除を行いましょ！

- ・出穂や開花状況をよく観察して、適期に赤かび病防除を行いましょ。
- ・[植物防疫ニュース \(H25速報No. 31\) 「麦類の赤かび病防除は適期に行いましょ！」](#)を当センターHPに掲載中。

○いちごの親株床の管理は適切に行いましょ！

- ・本ぽから親株床へのうどんこ病やハダニ類の持ち込みを防止するため、管理作業は別々に行うようにしましょ。

○ナシ黒星病の重点防除を行いましょ！

- ・一次伝染時期となるりん片脱落期から開花期前後は最重要防除時期です。果そう基部病斑(芽基部病斑)の摘み取りを徹底し、2分咲きから落花直後に治療効果のあるDMI剤を散布しましょ。

農薬は適正に管理し、正しく使いましょ！

- ☆ミツバチやマルハナバチに対する安全日数を目安に薬剤を選択しましょ。
- ☆同一薬剤の連用を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布しましょ。

1か月気象予報(予報期間4月12日から5月11日 4月10日気象庁発表)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

	低い(少ない) 確率	平年並の確率	高い(多い) 確率
○気温	40%	40%	20%
○降水量	30%	40%	30%
○日照時間	20%	40%	40%

NEWS & INFORMATION

- ☆「平成26年度 農作物等病害虫雑草防除の手引き」が発行されています。お求めの方は、栃木県農業者懇談会(028-647-2622)にお問い合わせ願います。

詳しくは[農業環境指導センター \(http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html\)](http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html)までお問い合わせください。病害虫情報発表のお知らせは「[農政部ツイッター\(@tochigi_nousei\)](#)」でも発信中です。

Tel (028) 626-3086 Fax (028) 626-3012